

## 小尾敏夫教授（アジア太平洋研究科）が 2 度目の総務大臣賞を受賞—国連機関への顕著な功績



国連機関の ITU（国際電気通信連合）への顕著な功績が認められ、2015 年度総務大臣賞授与が小尾敏夫教授に決定されました。ITU は今年が 150 周年記念という最古の国連機関で、約 200 か国が加盟し、ジュネーブに本部を置く ICT 分野の国際組織である。受賞理由は、30 年に及ぶ国連 ITU 各種活動への積極的参加に加え、2011 年から 4 年間、事務総局長特別代表に就任し、ITU の産官学協力体制の確立を目指す大学会員(アカデミア)制度の試験的運用という国連史上初めての制度確立にその責任者として多大な貢献をした。

また、世界で最初の大学として ITU と早稲田大学の包括的協力覚書を締結、途上国セミナーの開催など多彩な ITU 支援活動を主導した。他方、1985 年以来“ICT 分野のオリンピック”と称されてきた ITU 世界テレコムで議長やスピーカーを 8 回にわたり務めるなど、同イベントの発展に尽くした。加えて、人材育成プロジェクト CoE のアジア太平洋地区運営委員会議長を 1996 年から 11 年間務めるなど、途上国の人材育成に注力したほか、わが国のプレゼンスを高める多大な成果と貢献をもたらした点、などが挙げられる。“世界のワセダ”を標ぼうする我が校にふさわしい国際貢献といえる。

授与式は 5 月 15 日に開催される第 47 回世界情報社会・電気通信日の集いにて举行される。なお、小尾教授の総務大臣表彰は 2 度目で、1 度目は 2013 年の電子政府研究推進への貢献であった。